

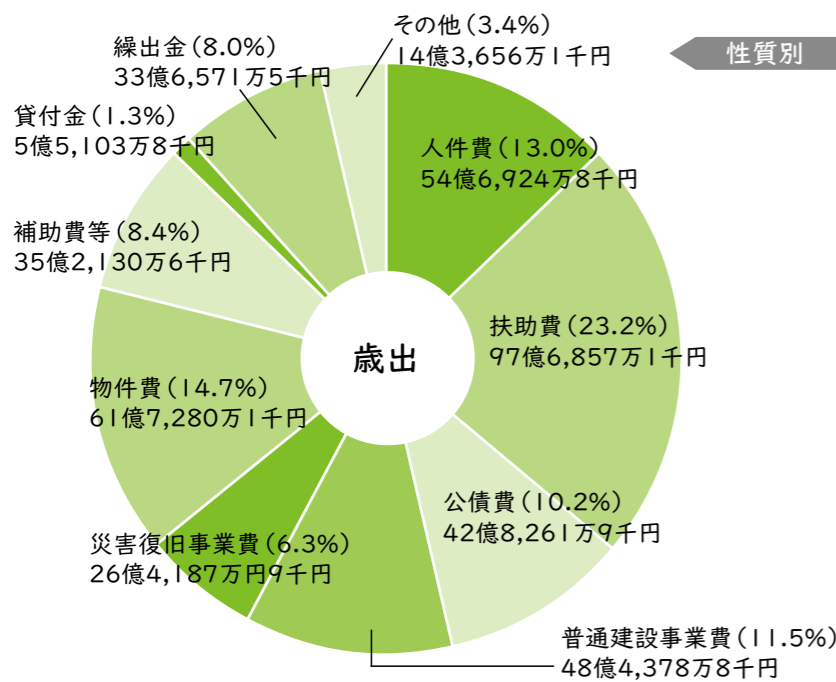
市民の皆さんに納めていただいた税金のほか、国・県からの支出金や地方交付税などが、どのくらい入り（歳入）、どのような事業にどのくらい使われたのか（歳出）など、市の財政状況についてお知らせします。

左図に過去3年の決算推移を表しています。令和3年度の決算を前年度と比較すると、国民一人当たり10万円を支給した特別定額給付金などの減によって減少しました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の状況による、市民生活や市内経済活動への影響を踏まえ、生活困窮者や子育て世帯、中小企業者等への支援、地域経済への消費喚起策などを実施しました。

市の財政状況をお知らせします

財政課 財政係 ☎ 8634 (市役所4階)

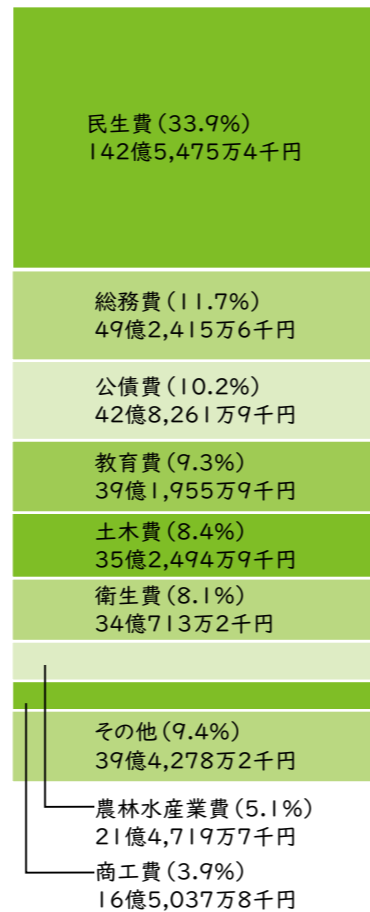
一般会計 歳出



歳出額は420億5,352万6千円

歳出決算を性質別にみると、高齢者や児童などに対して行う様々な支援に要する扶助費が97億6,857万1千円となり、最も大きな割合を示しています。次いで、施設の維持管理などに要する経費である物件費が61億7,280万1千円、職員や特別職の給与、議員の報酬などの人件費が54億6,924万8千円などとなっています。

目的別



一般会計 歳入

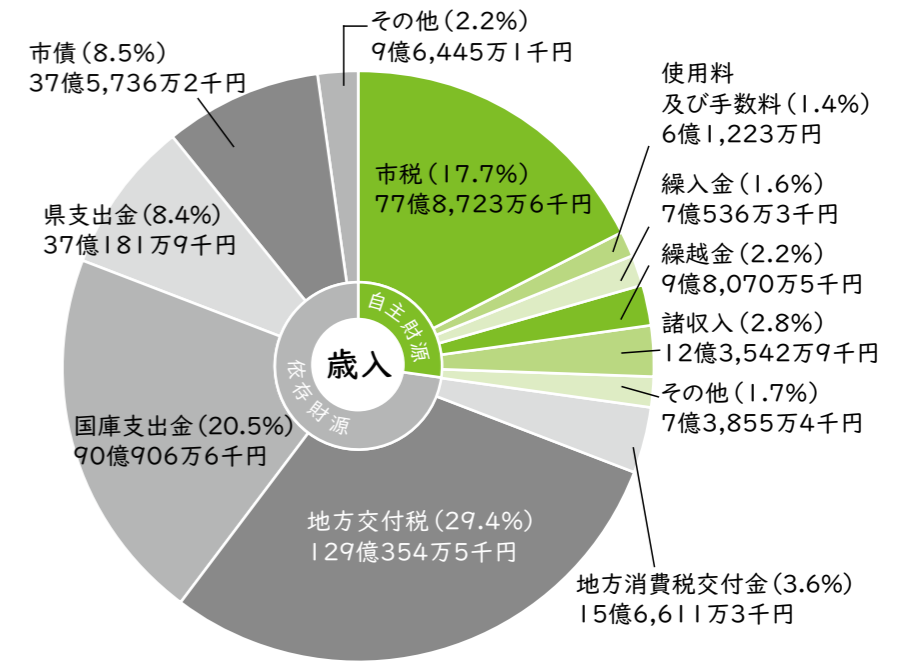
歳入額は439億6,187万3千円

市に入った令和3年度の一般会計の歳入は439億6,187万3千円でした。その内訳は、国や県に頼った依存財源が72.6%、市で賄う自主財源が27.4%となっています。

皆さんから納めていただいた市税は歳入総額の17.7%を占め、77億8,723万6千円となり、国からの地方交付税は129億354万5千円と歳入全体の29.4%を占めています。

■ 依存財源と自主財源

依存財源とは、地方交付税などのように国や県等に頼った財源のことを言います。自主財源とは、市税や使用料・手数料などのように市が自主的に収入することができるもので、自主財源の割合が高ければ高いほど、その使途の決定において自主性が高いと言えます。



用語説明

・ 一般会計：地方公共団体の会計のうち基本的・全般的な経費を計上する会計

・ 特別会計：特定事業に限定した収支を経理する会計

【歳入】

・ 市税：市民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税などの税金

・ 地方交付税：市町村が等しく事業を遂行できるよう、国から交付されるお金

・ 地方譲与税：国が徴収した自動車重量税等から市に配分され、交付されるお金

・ 分担金及び負担金：地方公共団体等の事業で利益を受ける人に負担してもらうお金

・ 国・県支出金：市町村が行う特定の事業に対して国又は県から交付されるお金

・ 市債：市の借入金で償還が1年を超えて行われるもの

・ 繰入金：基金として積み立てたお金を取り崩して収入とするお金

【歳出】

■ 性質別

・ 人件費：職員や特別職の給与、議員の報酬など

・ 扶助費：高齢者や児童などに対して行う様々な支援に必要な経費

・ 公債費：事業を行うために借りたお金（市債）の返済（元金・利子）などの経費

・ 普通建設事業費：学校や施設、道路の新・増設などに要する経費

・ 物件費：旅費、施設の維持管理などに要する経費

・ 補助費等：補助金の交付や負担金の拠出に必要な経費

・ 災害復旧事業費：土砂崩れなど、災害が起きた所の原状復帰のための経費

■ 目的別

・ 総務費：行政全般の事務などに関する経費

・ 民生費：障がいのある人、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費

・ 衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費

・ 農林水産業費：農林水産業振興のための支援や生産基盤整備などの経費

・ 商工費：商工業や観光の振興のための経費

・ 土木費：道路や河川、公園、施設建設のための経費

・ 教育費：小・中学校、社会教育施設、体育施設などの建設・整備・運営維持管理に要する経費